

「3年生ダンボールベッドづくり」実施

「コロナ禍の中における防災教育」 9月30日（木）本校体育館

災害はいつ起こるかわかりません。平日屋間の災害発生時には、地域の大人が少ない場面も想定されます。中学校が地域と連携・協働して、中学生が活躍することができるような防災学習・訓練を実施する意義はとても大きいです。行政職員や教員だけでなく、PTA、地域住民等と組織的に連携を図っていくことができるようになるための第一歩にしたいと思います。

前半組（9時00分～10時40分【3・4・6組】）と後半組（10時50分～12時30分【1・2・5組】）に分かれて行いました。

流れは、最初に「パワーポイントを使っての講義」で「自然災害について、知って備えて、やってみる」というテーマのもと、防災の日についてや災害の種類について、滑川岡川に住んでいて遭遇する可能性のある自然災害について、災害にあった方の感想、滑川岡洪水ハザードマップについて、首都直下型地震が起きたら、避難所生活とは、等の学習を行いました。

その後、「ダンボールベッドづくりの実際」ということで、コロナウイルス感染症対策を講じながら、8人グループで、少しでも快適に避難所生活を送れるようにとの思いを込めてダンボールでベッドを作りました。学年全体では24個のベッドが完成しました。

ダンボールは、社会貢献活動を行っている一般社団法人グリーンウインド（代表理事 奥平喜博 氏）から提供を受け、同時に御指導もいただきました。貴重な体験ができて良かったです。

